



まきび通信

校訓：夢へ みんなで まっすぐに

岡山県立倉敷まきび支援学校

学校だより

6・7月号



【1学期がんばりました～もうすぐ夏休み】

短い梅雨が終わり、連日厳しい暑さが続いています。コロナ禍で始まった令和4年度ですが、少しずつ落ち着く兆しが見え始め、学部ごとの運動会ができ、学期の後半には校外学習に行った学年もありました。安全に気をつけながら取組を広げていきたいと思っています。

7月7日の七夕は、本校や真備町にとっては忘れることのできない西日本豪雨災害の日でもあります。今年もこの日に、学校を代表して中学部3年生が、真備支所へ献花に行きました。本校では7月を防災月間として、全校で防災教育に取り組んでいます。二度とおきてほしくない災害ですが、「もしも」の時に自分や家族の命を守り、被害を最小限にできるよう、実態に応じた内容で学習をしています。ご家庭でも今一度「もしも」の時の約束を確認してみてください。



もうすぐ夏休み。保護者の皆様には、1学期間学校教育へのご理解・ご協力ありがとうございました。ますます暑い日が続きそうですが、元気で有意義に夏休みを過ごせますように。

(校長 梶谷 淳子)

【第1回学校運営協議会を行いました】

本校は、昨年度「コミュニティスクール」に指定されました。

6月21日に、「コミュニティスクール」の第1回の学校運営協議会を行いました。

学校経営に係る基本方針及び重点課題について、委員の方々にご意見をいただいた後、授業を見ていただき、就労・環境・安全・福祉、教育の4つのグループに分かれて、「地域とともにある学校づくり」のキーワードのもと協議を行いました。

地域型実習や事業所参観日等への協力や、近隣の学校とのスポーツ交流、あいさつ運動、子育てIUP講座などの具体的な今年度の取り組みについて、各グループから提案がありました。

また、「地域の方々と積極的にあいさつを行う取組を大切にしていきたいこと」「地域全体で学校を応援する」などありがたい言葉をいただき、地域とのつながりの大切さを改めて感じました。

地域の皆様、関係機関の皆様とともに社会に開かれた学校をめざします。

この会に先駆けて、河川敷でのマレットゴルフ、学校前の田んぼでの田植えなど、地域の方々とのふれあいが深まっています。

